

令和3年度

虹の坂通信



呉市立昭城南小学校
学校通信 第28号
令和4年1月18日

工夫しながら前に

12月には、調理実習やリコーダーの演奏などの学習ができていましたが、またレベル2の生活になってしまいました。朝の健康観察カードの点検も、集団感染を起こさせないためにより慎重に行っています。いつも、ご協力ありがとうございます。

確かに不自由な生活ですが、できることを工夫することで、子どもたちの生活はちゃんと前に進んでいます。

例えば、体育の長縄跳びは体が密着する場面が多いため、短縄跳びを行っています。休憩時間には、間隔をとり音楽に合わせて跳んでいます。音楽では、打楽器や鍵盤楽器を演奏したり、ボディパーカッションを取り入れたりしています。リコーダーはお家でタブレットを利用して練習です。職員みんなで、できること、できないことを話し合い、同じように子どもたちに関わっています。もちろん感染予防対策も真剣に続けています。

合同作品展に出品

1月15日(土)～18日(火)、呉市役所のロビーで、特別支援学級合同作品展が行われました。南小のおひさま学級、たんぽぽ学級の子どもたちも、この作品展に出品しています。

コロナのために、特別支援学級の子どもたちの合同遠足や合同運動会は2年連続の中止となりましたが、合同作品展だけは、昨年も今年も行われました。日頃の学習の成果である約500点の作品が展示されています。この作品展は子どもたちの発表の場として、市民啓発の場として大切に続けられ、今年で45年目となります。

実は、おひさま学級、たんぽぽ学級の子どもたちみんなが公共バスに乗って、作品展を見学しに行く予定でした。しかし、そこに第6波が来てしまい、その計画も中止となりました。残念です。来年はみんなで行こう！

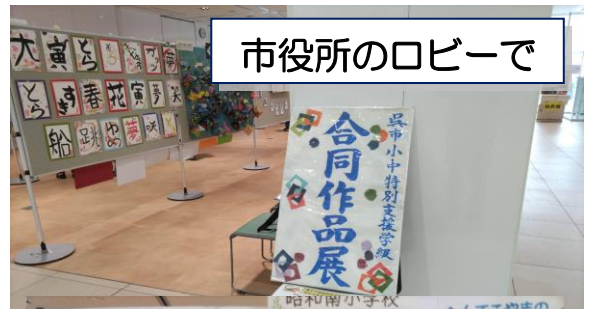
土日には、会場にたくさんの方が来てくださっていたので、南小の作品もしっかり観ていただけたと思います。



いっぱい広がって



木琴なら大丈夫



市役所のロビーで



南小の子どもたちの作品